

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		中央土地区画整理事業		担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	4122	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	土地区画整理法				
	小項目	1	良好な市街地・住環境形成の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、中央土地区画整理事業地区の道路・公園等の公共施設を整備改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る。・事業区域面積 23.3ha ・事業期間 平成10年度～令和10年度 ・街路延長(幅員4～22m) 6,856m ・公園 4箇所 7,690㎡ ・建物移転棟数 784棟								
目的 ※何のために		商店街や業務施設の再整備を行い、快適かつ利便性のある空間を創出し、商業を中心とした中心市街地にふさわしい街づくりに寄与すること。								
対象 ※誰・何を対象に		中央土地区画整理事業地内								
手段 ※どのように		建物移転により公共施設用地を確保する。								
成果 ※何を求めるか		道路や公園を整備し、快適な居住環境を確保する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	中央土地区画整理事業	773,057,206
本事業の 主な業務		・都市再生土地区画整理事業					・土地区画整理審議会			
		・諸証明の交付					・行政財産・公共施設管理			
		・移転補償					・工事請負・委託業務			
		・仮換地指定					・			
		・土地区画整理法第76条申請及び許可					・			
		・事業計画					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	654,338,246	793,336,140	810,057,000	1,020,115,000	877,361,000	630,698,000
	決算額	465,615,459	663,893,395	698,952,128	749,075,735	773,057,206	0
	財源内訳	国支出金	120,911,000	135,423,000	132,500,000	150,266,000	131,213,000
		県支出金	6,000,000	33,000,000	30,850,000	23,630,000	26,074,000
		地方債	0	0	76,300,000	0	0
		他特定財源	4,606,874	13,357,051	5,096,748	5,521,905	4,705,000
	一般財源	351,210,281	532,375,521	517,172,077	504,328,987	593,639,301	468,706,000
人件費	従事職員数(人)	4.00	4.00	3.65	4.45	3.90	3.80
	人件費相当試算※	31,116,000	31,128,000	48,630,000	36,205,200	30,271,469	30,899,122
総事業費試算		496,731,459	695,021,395	747,582,128	785,280,935	803,328,675	661,597,122

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	中央土地区画整理審議会開催回数	目標値	回	1	1	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1	1	1	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年 1 回の開催を目標とする。/年間の開催回数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	移転交渉回数	目標値	回							
		実績値	228	147	100	97	186	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 1	事業進捗率	目標値	%	25. 2	26. 95	29. 31	31. 67	34. 03	36. 39	
		実績値	23. 88	26. 45	29. 15	32. 05	35. 05	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 執行事業費／全体事業費						
	実績値の算出式									
成果指標 2	建物移転率	目標値	%	30	39. 41	42. 78	46. 15	49. 52	52. 02	
		実績値	36. 22	41. 07	44. 9	47. 95	49. 87	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 建物移転実績棟数／計画移転棟数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	宅地の利用開始率	目標値	%	10. 36	19. 52	21. 85	24. 18	22. 82	24. 32	
		実績値	17. 19	17. 84	19. 3	21. 38	23. 4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定 / 使用収益開始面積／総面積（宅地						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	中央土地区画整理審議会については、目標どおり開催できた。また、移転交渉については、関係権利者や個々の状況により交渉回数が左右されるため、それに伴い移転交渉回数が推移する。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	事業進捗率、建物移転率及び宅地の利用開始率について、目標値を上回ることができた。
			評価者 中央区画整理係長 茂木 徹也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	使用収益停止した従前地を仮換地として使用収益開始するまでの間、駐車場等の短期使用希望者に対して貸出し、その使用料収入を事業費に充当している。
			評価者 中央区画整理係長 茂木 徹也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和3年度中の「深谷駅通り線」の開通を目指し、整備を進める。
達成状況及び その効果	「深谷駅通り線（道路愛称：市役所通り）」については、令和3年12月22日に開通することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中央土地区画整理事業	担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	4122
<div><div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>中央地区は古くからの商業地であり、住宅密集率が高い地域である。そのため、移転先となる更地が少なく、また、複雑な権利関係により建物移転が難しい状況であるが、空き家の調査や積極的な移転交渉により事業用地の確保に努め、事業の進捗を図る必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	区画整理課長 大澤 昭仁				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	開通した「市役所通り」を、深谷市の新たなシンボルロードとなるよう整備する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	事業費の財源である国庫補助金等の安定した確保に努める。また、仲仙道通りについては、整備可能な部分の工事を積極的に行う。

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 1	指標名	事業進捗率																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td></td><td>25</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td></td><td>27</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td></td><td>29</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>31</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>33</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>35</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度		25	平成30年度		27	平成31年度		29	令和2年度		31	令和3年度		33	令和4年度	35	
年度	目標値	実績値																						
平成29年度		25																						
平成30年度		27																						
平成31年度		29																						
令和2年度		31																						
令和3年度		33																						
令和4年度	35																							

区分	成果指標 2	指標名	建物移転率																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td></td><td>35</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td></td><td>40</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td></td><td>43</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td>45</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td>48</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>50</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度		35	平成30年度		40	平成31年度		43	令和2年度		45	令和3年度		48	令和4年度	50	
年度	目標値	実績値																						
平成29年度		35																						
平成30年度		40																						
平成31年度		43																						
令和2年度		45																						
令和3年度		48																						
令和4年度	50																							